



平成 30 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 日本精密株式会社
 (JASDAQ コード番号 : 7771)
 代表者名 代表取締役社長 岡林 博
 問合せ先 執行役員財務・経理部長 阪井明男
 (TEL (048) 225-5311)

連結業績予想の修正及び個別業績見込みの前期実績との差異ならびに
 営業外費用（為替差損）の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 5 月 15 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせするとともに、平成 30 年 3 月期通期連結会計年度において、営業外費用（為替差損）を計上する見込みとなりましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正及び個別業績見込みの前期実績との差異について

● 連結業績予想の修正について

平成 30 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	8,527	77	6	351	18.91
今回修正予想 (B)	7,325	37	△126	227	12.26
増減額 (B-A)	△1,202	△40	△132	△124	
増減率 (%)	△14.1	△51.9	—	△35.3	
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 3 月期)	8,072	△357	△480	△339	△18.33

● 個別業績見込みについて

平成 30 年 3 月期通期個別業績見込み（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回実績 (A)	7,307	145	295	15.97
今回発表予想 (B)	5,841	△111	245	13.23
増減額 (B-A)	△1,466	△256	△50	
増減率 (%)	△20.1	—	△16.9	

(注) 当社は平成 30 年 3 月期個別業績予想を開示していないため、前期実績との増減率により適時開示しております。

通期連結業績予想の修正の理由

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、売上高は、高付加価値時計バンドの受注減少、ウェアラブル関連及び健康器具の前年スポット売上分の減少などにより7,325百万円になる見込みです。営業利益につきましては、製造部門における生産性の向上により、前年比では大幅に改善いたしましたが、売上高の減少をカバーしきれずに37百万円、経常利益については、在外子会社の外貨建て債務の評価損計上などにより△126百万円を計上する見込みです。これにより親会社株主に帰属する当期純利益は227百万円、前回公表値を下回る見込みとなりました。

なお、セグメントごとの情報は下表の通りです。

セグメントごとの情報（平成29年4月1日～平成30年3月31日）（単位：百万円）

	売上高			営業利益		
	予想	見込み	増減	予想	見込み	増減
時計関連	6,233	5,394	△838	△84	77	161
メガネフレーム	1,577	1,473	△103	45	△37	△82
その他	717	457	△259	116	6	△109
合計	8,527	7,325	△1,201	77	45	△31

通期個別業績見込みの前期実績との差異の理由

売上高、営業利益、経常利益につきましては、概ね上記の通期連結業績と同様の要因により、前期実績を下回る見込みとなりました。

2. 営業外費用（為替差損）の計上について

平成30年3月期連結会計年度におきまして、為替相場の変動により営業外費用に為替差損109百万円を計上する見込みです。

（注）上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上